

2024年2月13日

2024年1月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は前月に引き続き低調だった。学参テキストに動きが見られたが大口物件が少なく前年を大幅に下回った。

巻取は学参、生損保、チラシに大口物件がみられず前年を下回った。

（前年比 平判 85.1% 巻取 88.5%）

再生紙平判は入札案件の受注増加に加え、大口物件の受注により前年を大幅に上回った。

再生紙巻取は定期物件以外に一部で大口物件の受注があり、前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 150.9% 再生上質巻取 128.4% 再生上質計 136.2%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 85.8%）

<A2 コート>

平判はインバウンド関連パンフレット、国内旅行案件の動きはあったものの、雑誌ではページ数及び部数の減少、廃刊の動きが進んでおり、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

巻取は不動産、金融、教育関連チラシの動きが鈍く、雑誌においても落ち込みが続いており、グロスは前年を下回り、マットは前年を少し上回った。

（前年比 平判 84.4% 巻取 97.5% 全体 87.0%）

<A3 コート>

スーパー、量販店、ドラッグストアの定期的チラシ案件、イベント関連のスポットのチラシ案件で一部動きが見られたが、全体的には動きが悪く、平判、巻取ともに前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 78.5% 巻取 75.5% 全体 76.5%）

<ノーカーボン紙>

損保帳票の動きは一部見られたが、前年から数量激減。来年度分生保窓口販売用帳票が Web 化の動きでなくなっているものもあり、巻平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 84.2% 巻取 72.4%）

<上質フォーム>

自治体の納付書案件の動きは例年通り見られるが、民間の案件は低調。大口スポットの動きもなく低調に推移した。

（前年比 89.4%）

<包装用紙>

特殊両更は役所向けの封筒に一部動きがあったものの、既製品に動きが見られず低調であった前々年にすら及ばない結果となった。

(前年比 89.1%)

軽包装は雑包装用途を中心に例年並みの動きではあったが、低調であった前年を大きく上回った。

(前年比 124.8%)

片艶晒は保険会社の封筒に一部動きがあったものの、低調であった前年を僅かに上回る程度の結果となった。

(前年比 109.5%)

両更晒は役所、金融保険機関向け封筒に一部動きがあり前年とほぼ同等の動きとなった。

(前年比 98.6%)

色クラフトは一般企業向け封筒、役所向け封筒に動きがあり、前年を大きく上回った。

(前年比 122.9%)

純白ロールは土産、菓子の包装用途には一服感がみられ、好調であった前年を大きく下回った。

(前年比 76.5%)

包装紙全体では104.3%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは物価高騰による買い控えの影響が続き日用品や食品の動きが低調であった。医薬品関連はインバウンド効果も一部あり比較的堅調であった。

特板は化粧品のPOPや什器のスポットはあったが、菓子のパッケージは振るわなかった。

高板はトレーディングカードの新たなキャラクターのヒットがなく、一巡した感じがあり落ち着いている。

チップボールは一昨年の価格修正後の影響からか、厚物の貼合品から単紙の他品種へ移行したのもあったが、全体的には前年並みであった。

全体では前年をやや下回った。

(前年比 99.6%)